

神戸デジタル・ラボ、CEATEC2017で雷観測リストバンドを展示

—ITによる人命救助への取り組みの普及も—

株式会社神戸デジタル・ラボ（本社：兵庫県神戸市中央区、代表取締役社長：永吉一郎、以下 KDL）は、2017年10月3日～6日に幕張メッセ（国際展示場/国際会議場）で開催される CPS/IoT 総合展「CEATEC JAPAN 2017」において、神戸 IoT 推進ラボのブースで「雷観測リストバンド」を展示いたします。

■雷観測リストバンドとは



「雷観測リストバンド」は、雷雲を検知して、リストバンド上に通知するセンサデバイスです。ITによる人命救助への貢献を目的として KDL が開発しています。

雷被害の対策としては、観測情報の提供や、避雷システムの開発等が普及していません。しかし自ら情報を取得する必要があるなど、定点での対策のため一般に生活する方の日常的な人命救助の対策としては限界がありました。観測機器を普段の生活から身につけるようにウェアラブル化する事で、リアルタイムに災害からの早期避難を促すことができます。

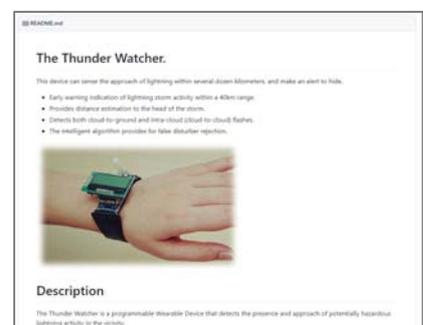
また、安価なデバイスを多くの人々に普及させることで、経済発展につなげる効果も期待できます。今後は雷観測リストバンドが雷雲を検知した際に周辺に通知するなどのデバイス連携を視野に入れています。

■オープンソース化への取り組み

KDL では、2017年5月より、雷観測リストバンドのプロトタイプをオープンソースハードウェアとして公開しています。雷観測リストバンドのプロトタイプをオープンソースハードウェアとして公開することで、実際の利用によるフィードバックや要望をいただき、多くの方とともに改良してより質の高いものにする事で人命救助に寄与できることを期待しています。

GitHub 上での公開ページ：

<https://github.com/kobedigitallabo/thunder-watcher>



■開発、展示の背景

昨年5月、KDL はルワンダ共和国との ICT 分野における経済・交流連携を進める神戸市の取り組みで市長らとともにルワンダを訪れ、現地民間団体や企業とのディスカッションに参加しました。10月には新技術創造係 IoT 班のメンバーが、具体的なビジネス展開を進めるべく神戸市の視察に同行し、ルワンダ最先端の IT 技術者が集結するキガリ市を訪問。ルワンダでは、雷により命を落とす人が多いという課題があり、現地の課題解決につながればと、今年5月に本製品のプロトタイプを開発しました。同月、ルワンダ共和国・キガリ市で開催された ICT によるアフリカ開発の会議「トランスフォームアフリカサミット 2017」にも神戸市と共同で出展しています。

CEATEC JAPAN2017 では、神戸市 IoT 推進ラボのブースで、これまでの神戸市と KDL のルワンダにおける取り組み、および雷観測リストバンドをご紹介します。

■イベント展示概要

名称 : CEATEC JAPAN 2017 (シーテック ジャパン 2017)
会期 : 2017年10月3日(火)～6日(金) 午前10時～午後5時
※神戸IoT推進ラボブースは5日(木) 午後3時30分まで
会場 : 幕張メッセ 千葉市美浜区中瀬2-1 (<https://www.m-messe.co.jp/access/>)
ブース : 特別テーマエリア : 小間番号 S07-19 神戸IoT推進ラボブース内
URL : <http://www.ceatec.com/2017/ja/exhibitors/detail.html?id=11191>

【会社概要】

株式会社 神戸デジタル・ラボ
代表者 : 代表取締役社長 永吉一郎
所在地 : (本社) 〒650-0034 兵庫県神戸市中央区京町72番地 新クレセントビル
設立 : 1995年10月
資本金 : 2億995万円
従業員数 : 167名(2017年2月現在)
URL : <http://www.kdl.co.jp/>

※プレスリリースに記載されたサービスの価格、仕様、内容、お問合せ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

【本件に関するお問い合わせ先】 ※取材など随時対応しますので、お気軽にお問い合わせください。

株式会社 神戸デジタル・ラボ
担当 : 中西 波瑠 (なかにし はる)
TEL : 078-327-2280
E-mail : info@kdl.co.jp